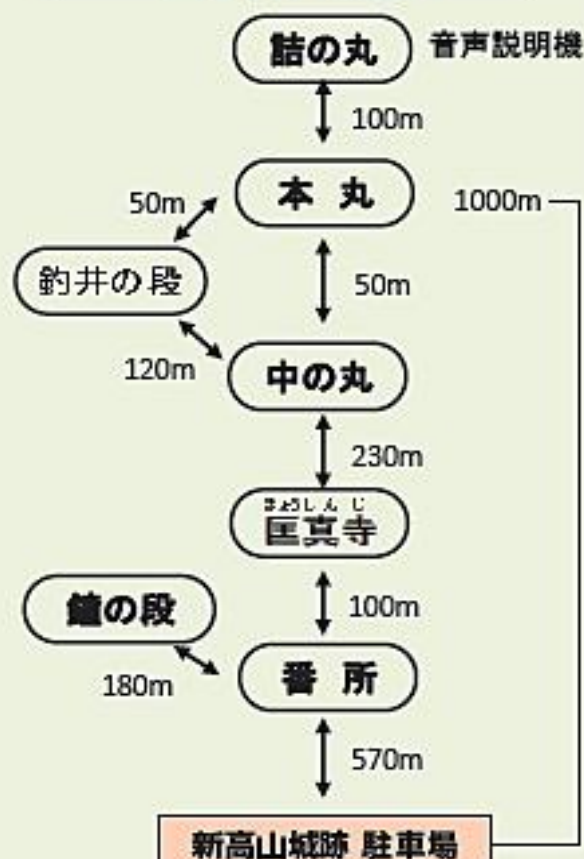


登城行程表



新高山城跡

国史跡 昭和32(1957)年12月11日 指定
続日本100名城 平成29(2017)年 4月 6日 認定

竹原小早川家から惣領家沼田小早川家の17代当主となった小早川隆景は、高山城に入城した1年後の天文21(1552)年、副墨としていた船木山に本拠を移し新高山城とした。

新高山城からは沼田川流域が一望でき、水運の便も良く、また家臣の人心一新のために城替えしたといわれている。

標高は197.6m、沼田川をはさんで高山城に対峙し、いたるところに岸壁がそそり立つ峻険な山容である。

城の縄張りは東西400mにおよぶ。曲輪は頂上尾根や鞍部を巧妙に活用しており、特に6基の石積みみの井戸が掘られた釣井の段は全国的にも屈指の井戸跡である。

鐘の段は中腹から張り出す尾根に配置され、特に国真寺跡には、築庭跡や当時の瓦が多量に散乱しているのが見受けられる。

永禄4(1561)年の春、小早川隆景は毛利元就、隆元を迎えて歓待している。親子で楽しんだであろう花見の桜は種を残し、その子孫たちが今も春の新高山城を明るく彩るのである。

45年間続いた新高山城は、小早川隆景が三原城に移った慶長元(1596)年廃城となった。

本郷町観光協会

〒729-0417

広島県三原市本郷南5-26-11



TEL・FAX 0848-86-5717

(平日 9時～12時)

ガイド予約受付中



にいたかやま

新高山城跡



新高山城周辺マップ



新高山城跡駐車場 マップコード 154 882 621 *52

新高山城跡

小早川隆景は天文21(1552)年に新高山城を築き、人心一新のため城警えを行った。永禄10(1567)年には三原城を築いて、前進基地としている。その後も伊予の油断郡、武野の島崎城を築城するが、この間も、新高山城を小早川氏の本拠の城として確保していた。そして、慶長元(1596)年には45年間続いた新高山城を離れ、三原城に移した。



④ 中の丸彫へと続く石段の上は門限とされる。



④ 三原城修築の際、この城の石垣の石を残らず、三原に運んだといわれているにも関わらず、まだ各所に石垣の一部が残存している。



(5) 北の丸跡からは船木の礎が見わたせる。



⑤ 天正5(1577)年、陸奥は、南関中屋の御上戸門山盛茂を招き、八咫宮の7回忌、母妙玖の33回忌の法要を行った。御葬からは多量の瓦が出土している。



⑦ 臺所跡は3段あり、土壁が今も残る。



⑧ 山頂に近い釣井の段(井戸敷)には、立派な石懸の穴井戸がらゝあり、多勢の武者たちが山上を遊して、いふことを物語る。エドヒガンザク・ヤブツバキ・ツツジ等が咲く早春には、随分のハイキングコースとなる。



③ 的井の設備から専ら舗へと進りきったところには門があったとされる。



(2) 牛乳鉢には折形の土器や磁器製石等があり、永徳4(1561)年には毛利元就・元就提子らが10日滞在し、雄略は、金所、成良、成徳、成徳、高田、常の茶の湯の湯などの建物で、湯、能楽や酒歌、太平記讀みなどを知りて喜ばれたといわれる。



② 本丸、藥に殘る礫石。



① 關の丸庫にある石造物、



①新高山は昔から燧石を多く産出していたらしく、山頂の圓の丸には石を切り出す矢穴跡の見える石が多い。



① 対岸の高山風物は、土肥寛平から4代目寛平の時代に繁栄する。17代陸奥が新高山へ城を築くまで約350年間沼田小幡川を隔てて対岸の高山に城を築くことは出来なかった。沼田小幡川を隔てて対岸の高山に城を築くことは出来なかった。沼田小幡川を隔てて対岸の高山に城を築くことは出来なかった。



① 陸の丸跡に立つと、眼下に忍田川によって作られた本郷の町や瀬戸内海が望める。